

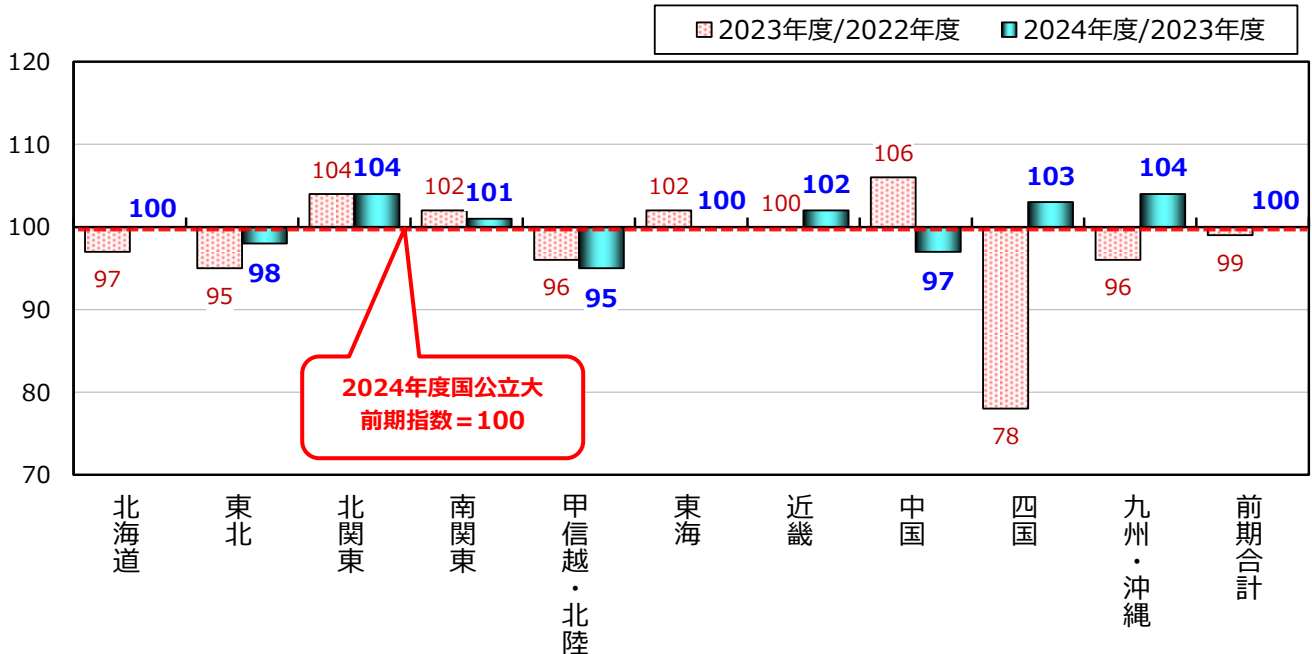
※本文内の（ ）内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

◎ 地区別志願状況

□ 前期は北関東、九州・沖縄でやや増加、甲信越・北陸はやや減少

〔地区別志願者指数〕

<前期日程>



前期は、北関東(104)がやや増加で3年連続増加、九州・沖縄(104)はやや増加で5年ぶりに増加、四国(103)は前年度大幅減少の反動でやや増加、近畿(102)、南関東(101)が微増でした。一方で、甲信越・北陸(95)は能登半島地震の影響もあってかやや減少、中国(97)は前年度の反動による増減ですが、瀬戸内海を挟んで対面する四国(103)への流出があったものと思われます。東北(98)は微減で2年連続減少となり、コロナ禍の収束により北関東などへの流出があったものと思われます。

これらの動きの中で人口の多い南関東(101)は3年連続前年度並、近畿(100)は4年連続前年度並です。地方から大都市部への受験生の志望の流れが戻ってきたことがうかがえます。

○北海道(100)…既存の13大学中8大学が減少。新設の旭川市立大を除くと(97)のやや減少。

【志願者数】北見工業大(+233人)、釧路公立大(+167人)はいずれも前年度減少数が大きかった反動で増加数が大きかった。一方で、室蘭工業大(-269人)は2年連続減少、北海道教育大(-243人)は減少数が大きかった。

【志願者指数】北見工業大(188)、釧路公立大(134)は大幅増加。一方で、室蘭工業大(65)、名寄市立大(70)、旭川医科大(80)、北海道教育大(83)は大幅減少。

○東北(98)…17大学中9大学が減少。

【志願者数】秋田県立大(+275人)は増加数が大きかった。一方で、山形大(-291人)、福島県立医科大(-251人)は減少数が大きかった。

【志願者指数】秋田県立大(151)は大幅増加。一方で、山形県立保健医療大(58)、岩手県立大(72)、青森公立大(75)、福島県立医科大(76)、山形県立米沢栄養大(85)はいずれも大幅減少。

○北関東(104)…10大学中6大学が増加。

【志願者数】宇都宮大(+451人)は3年連続増加。次いで、茨城大(+315人)は増加数が大きかった。一方で、高崎

経済大(-276 人)、前橋工科大(-187 人)は減少数が大きかった。

【志願者指数】宇都宮大(129)、茨城県立医療大(126)、茨城大(117)は大幅増加。一方で、前橋工科大(73)、高崎経済大(83)は大幅減少。

○南関東(101)…20 大学中 12 大学が増加。

【志願者数】千葉大(+485 人)は増加数が大きかった。一方で、横浜国立大(-480 人)は前期では全国で 3 番目に減少数が大きかった。次いで、川崎市立看護大(-247 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】神奈川県立保健福祉大(138)、電気通信大(117)は大幅増加。一方で、川崎市立看護大(46)は半減以下、埼玉県立大(84)は大幅減少。

○甲信越・北陸(95)…23 大学中 13 大学が減少。

【志願者数】福井大(+278 人)は増加数が大きかった。一方で、富山大(-834 人)は前期では全国で 2 番目に減少数が大きかった。次いで、金沢大(-249 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】敦賀市立看護大(169)、長野県看護大(157)、新潟県立看護大(154)、山梨県立大(136)、都留文科大学(134)、長野県立大(133)、福井大(133)、福井県立大(117)は大幅増加。一方で、石川県立大(61)、公立諏訪東京理科大(63)、三条市立大(71)、富山大(75)、上越教育大(76)は 2 割以上の大幅減少。

○東海(100)…14 大学中 8 大学が減少。

【志願者数】三重大(+644 人)は前期では全国で 2 番目に増加数が大きかった。一方で、岐阜大(-306 人)は医(医)で 2 段階選抜の基準を厳しく変更したことで減少数が大きかった。次いで、静岡大(-229 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】三重県立看護大(143)、三重大(127)は大幅増加。一方で、豊橋技術科学大(42)は半減以下、浜松医科大(74)は大幅減少。

○近畿(102)…24 大学中 12 大学ずつの増減。

【志願者数】京都大(+383 人)、大阪公立大(+240 人)はいずれも 2 年連続増加数が目立った。神戸大(+225 人)も増加数が大きかった。一方で、滋賀県立大(-222 人)、大阪大(-202 人)はいずれも減少数が大きかった。

【志願者指数】滋賀医科大(137)、奈良県立大(134)、和歌山県医科大(132)、奈良教育大(117)は大幅増加。一方で、科目変更を行った奈良県立医科大(49)は半減以下、滋賀県立大(79)は大幅減少。

○中国(97)…17 大学中 9 大学が増加。

【志願者数】島根大(+470 人)、鳥取大(+331 人)、岡山大(+238 人)は増加数が大きかった。一方で、山口大(-967 人)は前期では全国で減少数が最も大きかった。次いで、山陽小野田市立山口東京理科大(-361 人)、公立鳥取環境大(-215 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】島根大(129)、広島市立大(125)、島根県立大(125)、鳥取大(120)は 2 割以上の大幅増加だった。一方で、山陽小野田市立山口東京理科大(52)はほぼ半減、公立鳥取環境大(62)、新見公立大(66)、山口大(72)、尾道市立大(78)、開設 2 年目の周南公立大(81)、岡山県立大(85)は大幅減少。

○四国(103)…9 大学中 5 大学が減少。

【志願者数】香川大(+321 人)は増加数が大きかった。一方で、高知工科大(-149 人)は 2 年連続減少数が大きかった。

【志願者指数】鳴門教育大(143)、愛媛県立医療技術大(130)、香川大(121)の大幅増加が目立った。一方で、香川県立保健医療大(54)、高知工科大(81)はいずれも 2 年連続大幅減少。

○九州・沖縄(104)…23 大学中 14 大学が増加

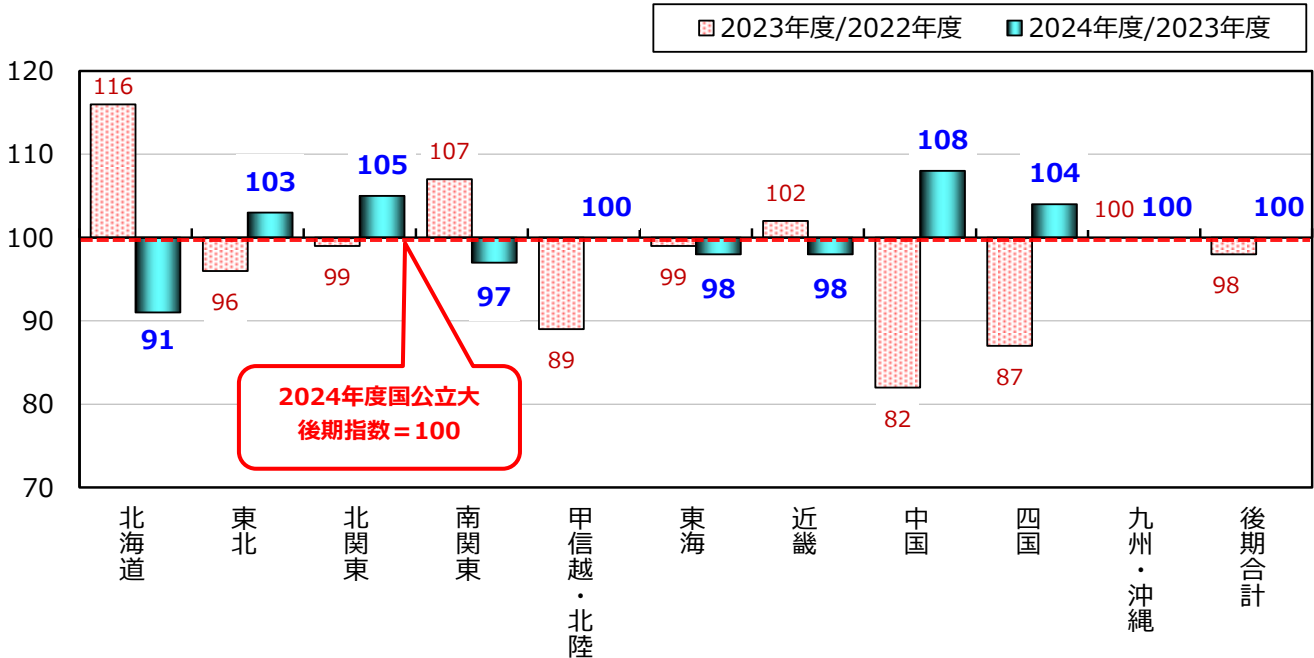
【志願者数】長崎大(+674 人)、北九州市立大(+581 人)、宮崎公立大(+228 人)の増加数が大きかった。一方で、宮崎大(-305 人)の減少数が目立った。

【志願者指数】宮崎公立大(222)は 2.2 倍増以上、沖縄県立芸術大(141)、北九州市立大(129)、長崎大(126)は 2

割以上の大幅増加。一方で、大分県立看護科学大(59)、宮崎県立看護大(77)、宮崎大(83)は大幅減少。

□後期は中国が増加、北海道が減少

<後期日程>



後期は、中国(108)が増加、北関東(105)、四国(104)、東北(103)がやや増加となっています。一方で、北海道(91)が減少、南関東(97)はやや減少、東海(98)、近畿(98)が微減となっています。人口の多い南関東、東海、近畿から地方への流出の動きがうかがえます。

北海道(91)は減少ですが、北海道大<後>(95)が2年連続増加の反動でやや減少したことが影響しました。四国(104)は前年度の反動による増加ですが、中国(108)は前年度岡山大が後期募集を停止したこともあり大幅減少しましたが、鳥取大(167)、島根大(150)の大幅増加が影響しています。

○北海道(91)…既存の9大学中7大学が減少。新設の旭川市立大を除くと(89)の減少。

【志願者数】北見工業大(+435人)は前年度減少数が大きかった反動で増加数が大きかった。一方で、北海道教育大(-491人)、室蘭工業大(-465人)、旭川医科大(-264人)、北海道大(-238人)は減少数が大きかった。
 【志願者指数】北見工業大(158)、公立はこだて未来大(139)は大幅増加。一方で、旭川医科大(61)、名寄市立大(61)、室蘭工業大(68)、北海道教育大(75)は大幅減少。

○東北(103)…14大学中7大学ずつの増減。

【志願者数】岩手大(+295人)、東北大(+272人)は増加数が大きかった。秋田大(+236人)は3年連続増加。一方で、福島大(-230人)は減少数が目立った。
 【志願者指数】岩手大(135)、東北大(127)が大幅増加。一方で、青森公立大(48)は半減以下、岩手県立大(72)、福島県立医科大(75)は大幅減少。

○北関東(105)…7大学中4大学が増加。

【志願者数】茨城大(+593人)は前年度後期では全国で2番目に大きい減少数だった反動で増加数が大きかった。一方で、群馬大(-250人)は減少数が目立った。
 【志願者指数】宇都宮大(136)、茨城大(117)は大幅増加。一方で、群馬大(83)は大幅減少。

2024 年度入試状況分析【国公立大】

○南関東(97)…既存の 15 大学中 8 大学が増加。後期募集停止の埼玉県立大を除くと(99)。

【志願者数】電気通信大(+368 人)は前年度減少数が大きかった反動で増加数が大きかった。一方で、横浜国立大(-394 人)、東京都立大(-392 人)は減少数が大きかった。

【志願者指数】お茶の水女子大(129)、神奈川県立保健福祉大(125)、電気通信大(118)は大幅増加。一方で、川崎市立看護大(48)は半減以下、東京都立大(84)は大幅減少。

○甲信越・北陸(100)…13 大学中 9 大学が減少。

【志願者数】福井大(+1,044 人)は後期では全国で 2 番目に増加数が大きかった。山梨大(+483 人)の増加数も大きかった。一方で、富山大(-414 人)は 2 年連続で減少数が大きく、富山県立大(-349 人)、信州大(-308 人)、石川県立大(-224 人)も減少数が大きかった。

【志願者指数】福井大(186)、山梨県立大(133)、山梨大(125)、敦賀市立看護大(120)はいずれも大幅増加。一方で、富山県立大(46)は半減以下、石川県立大(52)、石川県立看護大(62)、上越教育大(79)は大幅減少。

○東海(98)…13 大学中 8 大学が増加。

【志願者数】静岡県立大(+181 人)、愛知県立大(+141 人)の増加数が大きかった。一方で、三重大(-365 人)、静岡大(-347 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】三重県立看護大(161)、静岡県立大(146)、愛知県立大(122)は大幅増加。医(医)のみで前年度募集枠を地域枠から一般枠に変更した名古屋大(118)は 2 年連続大幅増加。一方で、浜松医科大(72)は前年度 2.3 倍増以上の反動で大幅減少。

○近畿(98)…20 大学中 13 大学が減少。

【志願者数】滋賀県立大(+158 人)、奈良教育大(+124 人)は増加数が大きかった。一方で、大阪公立大(-252 人)、和歌山大(-203 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】奈良教育大(115)は 2 年連続大幅増加。一方で、和歌山県立医科大(78)、兵庫教育大(84)は大幅減少。

○中国(108)…既存の 13 大学中 8 大学が減少。後期新規実施の周南公立大を除くと(106)。

【志願者数】鳥取大(+1,062 人)は後期では全国で最も増加数が大きく、島根大(+723 人)は後期では全国で 3 番目に増加数が大きかった。一方で、山口大(-670 人)は後期では全国で 2 番目に減少数が大きく、広島大(-255 人)は 2 年連続減少数が大きかった。

【志願者指数】鳥取大(167)、島根大(150)、岡山県立大(145)、広島市立大(144)は大幅増加。一方で、公立鳥取環境大(68)は 2 年連続大幅減少、新見公立大(73)、山口大(80)、島根県立大(82)も大幅減少。

○四国(104)…9 大学中 6 大学が増加。

【志願者数】徳島大(+429 人)、香川大(+404 人)の増加数が目立った。一方で、高知工科大(-374 人)、愛媛大(-215 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】鳴門教育大(189)、香川大(138)、徳島大(120)は大幅増加。一方で、高知工科大(60)、高知県立大(69)は大幅減少。

○九州・沖縄(100)…21 大学中 13 大学が増加。

【志願者数】北九州市立大(+388 人)、長崎県立大(+358 人)、宮崎公立大(+320 人)、九州大(+215 人)の増加数が目立った。一方で、宮崎大(-965 人)は減少数が大きく、後期では全国で最も減少した。次いで、佐賀大(-297 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】宮崎公立大(236)は 2.3 倍以上の増加、福岡女子大(143)、北九州市立大(122)、長崎県立大(120)は 2 割以上の増加。一方で、宮崎大(74)、宮崎県立看護大(74)、大分県立看護科学大(79)、沖縄県立看護大(79)は大幅減少。

<中期日程>

新設の旭川市立大を除いた 26 大学中 13 大学が減少。

【志願者数】下関市立大(+431 人)、岐阜薬科大(+356 人)、兵庫県立大(+234 人)、前橋工科大(+221 人)の増加数が大きかった。一方で、開設 2 年目の周南公立大(-600 人)、岡山県立大(-581 人)、山陽小野田市立山口東京理科大(-449 人)の減少数が大きかった。

【志願者指数】岩手県立大(183)、前橋工科大(144)、岐阜薬科大(143)、下関市立大(120)、長岡造形大(119)、奈良県立大(117)、公立小松大(116)は大幅増加。一方で、周南公立大(59)、三条市立大(59)、岡山県立大(65)、山陽小野田市立山口東京理科大(73)、静岡県立大(76)、公立諏訪東京理科大(77)は指数 80 を下回る大幅減少。

<独自日程>

国際教養大、新潟県立大、叡啓大の 3 大学

【志願者数】国際教養大が志願者数 779 人で志願倍率は 7.8 倍、新潟県立大は志願者数が 2,205 人で志願倍率は 8.2 倍、追加募集を行った叡啓大が 21 人の志願者数で志願倍率は 2.1 倍だった。国際教養大(-58 人)、新潟県立大(-106 人)はいずれも減少、追加募集を行った叡啓大は前年度と同数。

【志願者指数】国際教養大(93)、新潟県立大(95)はいずれもやや減少。